

平成31年度 小浜商工会議所青年部 事業計画書（案）

着眼大局着手小局

まなび・つなぎ・つくりだす
～学・維・創 新しい時代の幕開けを变革の年に～

所信

平成から令和に改元される2019年、新しい時代の幕開けとともに、これからどのような時代になっていくのでしょうか？平成という時代の中で成長してきたYEGも時代にあった組織に生まれ変わっていかねばなりません。

人口減少時代の問題が叫ばれて時間が経ちますが、著しいテクノロジーの進歩、価値観の変化の中で我々地方の中小企業経営者は、その環境に適応し、各々の課題に变革を持って解決をして生き残っていかなくてはなりません。また、愛する若狭小浜が直面する課題についても、責任世代の我々が声を上げ、意思決定を行い、自覚を持って自ら行動していく必要があります。

新元号に改元される本年、小浜YEG会長を拝命することは、大変名誉なことであり、また大変身の引き締まる思いでもあります。

本年度のスローガンは、着眼大局着手小局 まなび・つなぎ・つくりだす ～学・維・創 新しい時代の幕開けを变革の年に～とさせていただきます。着眼大局とは、大局観つまり時代の流れ、長期的な視点、物事の全体像を俯瞰的にとらえるということでもあります。着手小局とは、大局観を共有し、その実践はひとつずつ積み重ねていくという意であります。この言葉を一年間の青年部事業活動の幹として、青年部が愛する若狭小浜の成長のエンジンとなる気概で事業を進めてまいりたいと考えます。

スローガンには3つの漢字をキーワードとして挙げさせていただき、一年間の事業の指針としてまいります。

・学（まなび）

Y E Gを学びの舎とし積極的に学びを得ていただきたい。Y E G活動における研鑽と交流は、すべてが実践的な学びであります。自ら自企業のさらなる発展と維持、メンバー各位の人間性と資質の向上、そして地域愛の醸成につなげていただきたいと考えます。

・維（つなぐ）

維とは、つなぐ、もちこたえるという意味があります。過去に学び、未来へとつなぐ、人と人のご縁をつなぐ、会員の拡大を図る、県内外の交流を広げ、人のご縁を広げていただき、若狭小浜になくてはならない青年経済団体に成長していきたいと考えます。

・創（つくりだす）

新しく創り上げるという意。変革、イノベーションは、学と維から生じるものであると考えます。新たな発想で自社、青年部活動ともに新しい風を吹き込めるような土台を作る一年にしていきたいと考えます。また、小浜Y E Gで活動することにより、地域に必要なとさせる人財を一人でも多く育成できる土壌を今以上に創っていきたいと考えます。

本年2019年己亥の年は変革の年であるとも言われています。

10月には県内大野Y E Gで近畿ブロック大会が開催され、2020年度には、全国大会ふくい鯖江大会が開催される大変重要な準備の年でもあります。また、2023年には、北陸新幹線敦賀（嶺南）開業も控えています。これらを大きなチャンスととらえ、我々青年部メンバーのさらなる成長につなげてまいります。

私自身、これまで青年部で成長させていただいた恩を少しでもお返しできるよう、一年間一生懸命努めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

以上

《運営方針》

1. 「総務・提言」、「ビジネス研修」、「大会準備・交流」、「会員100人達成」の4委員会で運営する。
2. 30周年宣言に基づいた事業運営を行う。
3. 自己研鑽できる事業を運営する。
4. 会員間の親睦、家族との交流事業を行う。
5. 他単会、近隣市町や各種団体との交流を行う。
6. 人材育成のための会員開発、積極的な会員拡大を図る
7. 協力事業、イベントや各種大会へ積極的な参加・協力を行う。
8. 次世代の青年部を担うリーダーを育成する。

総務・提言委員会 委員長 杉谷 将典

総務・提言委員会では、年2回の総会の運営及び政策提言活動の企画、取組みをします。これらの活動を行うことで、委員会メンバーに責任と自覚を持たせ、本人のさらなる成長につながる運営を行っていきます。

- ①年2回の総会では、委員会メンバーと協力し、適正かつスムーズな運営を行っていきます。
- ②政策提言活動において、例会で勉強会を開催する等、年間を通じて活動し、まとめ上げたものを提出及び納会で報告します。
- ③政策提言活動内容を、たくさんの人に周知するため、YEG魂に掲載し、各事業所に配布します。

ビジネス研修委員会 委員長 北山 政道

ビジネス研修委員会では、『小浜YEG＝学びの舎』となるべく多角的な研修事業を企画・運営して参ります。「学びとは、実践が有って初めて身に付く」を合言葉に、ビジネスに繋がる実践の場の提供を行い、未来の小浜の人財育成への礎を築きます。

- ①青年経済人として研鑽できる例会を企画・運営します。
- ②オープン勉強会を企画し、学びの舎として機能させます。
- ③日本YEGやブロックなどの事業を案内し、実践の場を提供して参ります。

大会準備・交流委員会 委員長 杉田 優介

大会準備・交流委員会では、主に次年度に開催が予定される全国大会ふくい鯖江大会に向けて、会員の大会参加意欲の向上に努められる活動を行います。また、委員会内での団結力を高めるために、一丸となってこの1年のYEG活動を盛り上げていける委員会運営を行なっていきます。

- ①全国大会分科会を見据えた、YEG交流会を企画・運営します。
- ②次年度の全国大会に活かせるよう、近畿ブロック大会越前おおの大会に、より多くの会員の参加意欲を向上させる企画を運営します。
- ③1人でも多くの会員の参加意欲を向上させ、全国大会ふじのくに静岡ぬまづ大会に参加できるよう、企画・運営します。

会員100人達成委員会 委員長 杉本 幸弘

会員100人達成委員会では、小浜YEGが今後の地域発展に必要とされる団体であり続けていくためにも、会員拡大、すなわち共に学び成長していける仲間を増やすことを目指します。また、会員拡大だけでなく、つながりを深められるような委員会活動を行います。

- ①会員拡大を目指した企画を考え、今後の土台作りを行います。
- ②会員間だけでなく、その家族との絆を深められるような例会を企画・運営します。
- ③1年間の活動・取組・成果を振り返り、今後に繋がる例会を企画・運営します。